

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	北海道支部	(2) 記載者氏名	鈴木 和夫	会員番号:	13172	事務局整理記入欄	北海道 - 143
分水嶺区分:	P926手前コル～H113～H114旧金山峠	(3) 山行日:	2005年	3月	21日	(4) 天候	快晴

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

漆崎 裕子	13041	石田 栄子	会友	4	石田 泰史	会員外			
鈴木 和夫	13172				福田 貴子	会友	32		
計				3名	計				2名

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	H113P909肩～P775～662.7～旧道金山峠												
アプローチ:													
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	P926手前コル	石狩金山	142	28	29.52	43	5	47.13	903		7:30		(8)
分水嶺到達点	P926手前コル	石狩金山	142	28	29.52	43	5	47.13	903		7:30	B-4	(9), C2
H113	P909M肩	石狩金山	142	28	3.72	43	5	48.45	892	8:40	8:45	B-4	(9)
	P775m	石狩金山	142	26	29.40	43	5	1.17	782	12:10	12:30	B-4	(9)
	P703m肩	石狩金山	142	25	27.52	43	5	33.38	729	15:20		B-4	(9)
	662.7m	石狩金山	142	24	42.41	43	5	20.79	666	17:13		B-4	(9)
												B-4	(9)
分水嶺離別点H114	旧道金山峠	石狩金山	142	24	1.22	43	5	28.99	514	17:50		B-4	(9)
歩行終了点	新道トンネル手前	石狩金山	142	24	0.80	43	5	38.89	487	18:00			
総歩行時間(休憩時間を除く):												10時間10分	

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
	662.7m				

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

(9) 水および植生に関連した特記事項

H113の肩からコルへの下りはきれいなシラカバの疎林で快適にスキーを滑らせた。 それ以外の分水嶺は、全体的に針葉樹が多く、特に尾根上は2～3mの灌木が多くあった。

(10) その他の特記事項

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: